

経営比較分析表

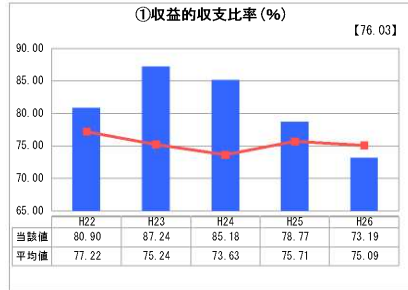
熊本県 苓北町

| | | | |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 |
| 法非適用 | 水道事業 | 簡易水道事業 | D2 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 96.34 | 4,174 |

| | | |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
| 7,893 | 67.55 | 116.85 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 7,507 | 34.23 | 219.31 |

| |
|-----------------|
| ■ 当該団体値 (当該値) |
| — 類似団体平均値 (平均値) |
| □ 平成26年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



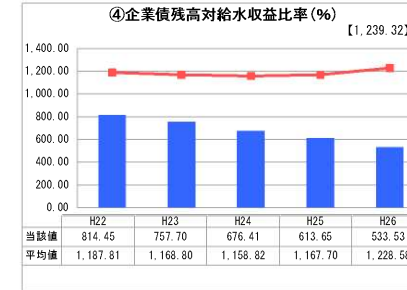
「単年度の収支」



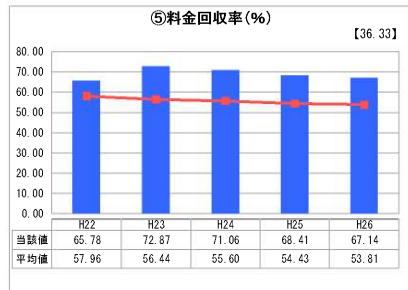
「累積欠損」



「支払能力」



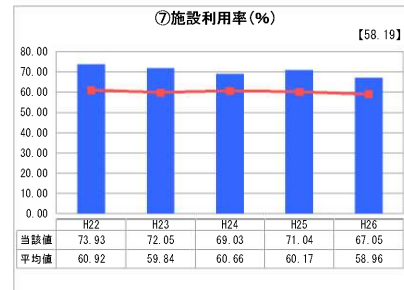
「債務残高」



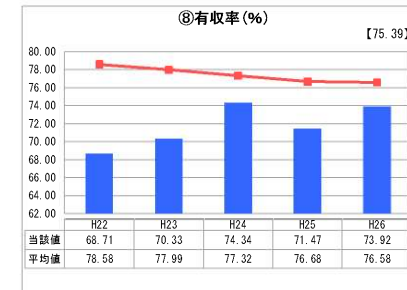
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

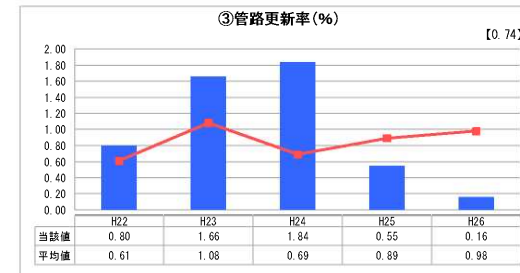
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率が低下している。(要因)
- ①給水人口の減少に伴う料金収入の減少。(給水人口：H22年度 7,792人→H26年度 7,507人)(料金収入：H22年度 181,454千円→H26年度 176,122千円)
- ②簡易水道事業償還金の増加(H25年度、笹尾浄水場基幹整備工事に伴う簡易水道事業償借入 18,700千円)
- ③施設等の修繕・維持管理に係る経費が増加・有収率が類似団体平均値及び平成26年度全国平均より低い。(要因)
- ①管路等でごく少量の漏水が発生しているが、ある程度の漏水となるまでは発見が困難であるため。(今後の対策)
- ・企業債残高は徐々に減少しているため、今後も計画的に償還を行う。
- ・有収率の改善を図るために、巡視を強化し、給水される水量に繋げ、施設等にかかる維持費(光熱費等)を抑え収益に結びつける。

2. 老朽化の状況について

- ・管路更新率が類似団体平均値及び平成26年度全国平均より下回っている。(要因)
- ①H11年からH12年にかけて、下水道を整備した際に、水道の送・配水管等も一緒に大規模改修を行い、更新がほぼ完了しているため。(今後の対策)
- ①管路の改修時期を適切に見定め計画的に更新を行っていく。

全体総括

- ・管路の更新を適切に行ったことにより、有収率が上昇傾向にあるので、今後も適切な管理を行うとともに、計画的な管路更新を行っていくことで、類似団体平均値の水準まで引き上げる。
- ・漏水を早期発見するために、配管されている箇所を定期的・計画的に巡回し、早期に修繕を行うことで、漏水に係る無駄な費用を抑え、経営改善を目指す。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。